



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月30日

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社

上場取引所 東

コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 眞哉

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 菅野 申一

TEL 079-235-6004

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	146,091	62.8	2,617	55.1	2,233	61.2	1,379	72.7
2019年3月期第2四半期	89,735	18.0	5,836	11.9	5,749	11.6	5,060	18.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 4,887百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 4,107百万円 (12.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	24.62	
2019年3月期第2四半期	157.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	345,571	192,524	54.5
2019年3月期	374,246	200,200	52.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 188,366百万円 2019年3月期 195,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		45.00		24.00	69.00
2020年3月期		15.50			
2020年3月期(予想)				9.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	277,000	49.1	4,000	60.5	3,000	68.2	1,600	79.3	28.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2019年6月19日開催の取締役会において、自己株式の取得および消却を決議いたしました。連結業績予想の1株当たり当期純利益については、当該自己株式の取得および消却の影響を考慮しております。なお、自己株式の取得および消却については2019年6月19日公表の「自己株式取得に係る事項の決定および自己株式の消却に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、【添付資料】12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	57,437,307 株	2019年3月期	57,437,307 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,215,477 株	2019年3月期	1,212,166 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	56,035,161 株	2019年3月期2Q	32,213,857 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

【添付資料】

(目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報)	12
参考資料	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、個人消費と雇用環境の改善を背景として緩やかな回復基調で推移いたしました。米中貿易摩擦が世界経済に与える影響、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念などによる海外経済の不確実性の高まりによって、企業の業況判断は製造業を中心に慎重さを増しております。

特殊鋼業界におきましては、前期後半からの工作機械、ロボット、半導体製造装置など一部の向け先への調整の動きが、自動車、産業機械向け等、主要需要業界全体に広がったことなどから、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は、前年同期を下回る水準で推移いたしました。

このような中、当社グループの売上高は、当社販売数量は減少したものの、当第1四半期からスウェーデンの子会社Ovakoを連結対象としたことなどにより、前年同期比563億56百万円増の1,460億91百万円となりました。利益面では、Ovakoの営業利益の計上はありましたが、当社単体の営業利益が、販売数量の減少や副資材価格の上昇、修繕費の増加、数量減に伴うコストアップなどにより減少したこと、Ovakoおよびインドの連結子会社MSSSののれん償却費の増加などにより、営業利益は前年同期比32億18百万円減の26億17百万円、ROS(売上高営業利益率)は1.8%(前年同期は6.5%)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期にMSSSを連結子会社化したことにもなう段階取得に係る差益(14億59百万円)を計上していたことなどにより前年同期比36億81百万円減の13億79百万円となりました。

当第2四半期損益の概要

(単位:億円)

	当第2四半期	前年同期	差引増減	増減率(%)
販売数量(千t)	902	571	331	+57.9
内、当社単体	463	532	-69	-13.0
内、Ovako(注2)	387	-	387	-
内、MSSS(注2)	52	40	13	+32.1
売上高	1,461	897	564	+62.8
営業利益	26	58	-32	-55.1
内、当社単体	30	55	-25	-45.3
内、Ovako	17	-	17	-
内、MSSS	-4	1	-5	-
内、のれん償却費(Ovako、MSSS)	-15	-1	-14	-
経常利益	22	57	-35	-61.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	14	(注3) 51	-37	-72.7

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) Ovakoは当第1四半期から、MSSSは前第2四半期から損益を連結しております。

(注3) 特別利益に計上したMSSS連結子会社化にもなう段階取得に係る差益(14億59百万円)が含まれております。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

鋼材事業

当第2四半期の売上高は、当社販売数量は減少したものの、当第1四半期からOvakoを連結対象としたことなどにより、前年同期比570億95百万円増の1,391億69百万円となりました。営業利益は、Ovakoの営業利益の計上はありましたが、当社販売数量の減少や副資材価格の上昇、OvakoおよびMSSSののれん償却費の増加などにより、前年同期比26億33百万円減の24億3百万円となりました。

粉末事業

当第2四半期の売上高は、電子材料分野向けの販売数量の減少などにより、前年同期比2億94百万円減の21億18百万円となりました。営業利益は、電子材料分野向けの販売数量の減少や販売単価の低下などにより、前年同期比2億94百万円減の68百万円となりました。

素形材事業

当第2四半期の売上高は、販売数量の減少などにより、前年同期比7億30百万円減の91億27百万円となりました。営業利益は、販売数量の減少や副資材価格の上昇、修繕費の増加などにより、前年同期比2億84百万円減の96百万円となりました。

その他

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第2四半期の売上高は前年同期比1億33百万円増の8億25百万円、営業利益は、前年同期比17百万円増の27百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産残高は、受取手形及び売掛金の減少、たな卸資産の減少などにより、前期末比286億74百万円減の3,455億71百万円となりました。負債残高は、支払手形及び買掛金の減少、借入金およびコマーシャル・ペーパーの減少などにより、前期末比209億99百万円減の1,530億46百万円となりました。純資産残高は、その他の包括利益累計額の減少などにより、前期末比76億75百万円減の1,925億24百万円となりました。この結果、当第2四半期末におけるD/Eレシオ（純資産残高に対する有利子負債残高（現預金残高控除後）の割合）は0.31（前期末は0.34）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益（21億1百万円）、減価償却費（73億3百万円）、のれん償却額（14億98百万円）に対し、売上債権の減少（117億97百万円）、たな卸資産の減少（59億15百万円）、仕入債務の減少（△81億43百万円）、法人税等の支払（△19億13百万円）などにより、163億62百万円の収入（前年同期比130億72百万円の収入増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出（△67億87百万円）、子会社株式の条件付取得対価の払戻による収入（47億9百万円）などにより、10億24百万円の支出（前年同期比44億99百万円の支出減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金およびコマーシャル・ペーパーの減少や自己株式取得のための支出などにより、171億93百万円の支出（前年同期比152億2百万円の支出増）となりました。

これらにより、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、193億44百万円（前期末比94億54百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

米中貿易摩擦の影響等による海外経済減速の懸念、主要需要業界における調整の長期化、特殊鋼業界における国際競争の激化など、当社グループをとりまく事業環境は非常に厳しい状況にあります。

こうした中、当社グループは、第10次中期経営計画「Sanyo Global Action 2019」に掲げたとおり、経営理念『信頼の経営』のもと、生産構造改革の実行などによる事業基盤の強化、技術先進性のさらなる追求、「高信頼性鋼の山陽」のグローバルブランド化を推進することで、競合激化、原料・副資材・エネルギー価格の上昇等の厳しい経営環境においても、人・技術・利益の持続的成長を追求してまいります。また、日本製鉄、Ovakoとの連携に関しましては、当社およびグループ会社のポテンシャルを最大限発揮し、相乗効果の早期発現を図ってまいります。

連結業績予想に関しましては、主要需要業界における調整が下期以降も継続が見込まれることから、当社の販売数量は、拡販活動を実施するものの前回開示時点(2019年7月30日)の想定に比べて減少するとみられます。このような状況において当社は、品種構成の改善や最適生産・コストミニマム操業の徹底を実施してまいります。販売数量の減少影響をカバーするまでには至らない見込みです。また、OvakoやMSSSにおいても、拡販活動や品種構成の改善、操業・調達コストの削減、固定費の削減等を実施してまいります。欧州およびインドの特殊鋼需要の大幅な落ち込みによる販売数量減少影響などにより、両子会社の損益は前回予想に比べ減少する見込みです。以上のことから2020年3月期通期の予想を次のとおり修正いたしました。

(単位:億円)

	今回修正予想	前回予想 (7/30公表)	増減	増減率(%)
販売数量(千t)	1,725	1,878	-153	-8.1
内、当社単体	941	1,008	-67	-6.6
内、Ovako	685	736	-51	-6.9
内、MSSS	99	134	-35	-26.1
売上高	2,770	3,000	-230	-7.7
営業利益	40	110	-70	-63.6
内、当社単体	80	101	-21	-20.8
内、Ovako	0	33	-33	-100.0
内、MSSS	-9	1	-10	—
内、のれん償却(Ovako、MSSS)	-30	(注2) -26	-4	—
経常利益	30	100	-70	-70.0
親会社株主に帰属する当期純利益	16	70	-54	-77.1
1株当たり当期純利益(円/株)(注3)	28.89	126.46	-97.57	-77.2
のれん償却前営業利益	70	136	-66	-48.5
のれん償却前親会社株主に帰属する当期純利益	46	96	-50	-52.1
のれん償却前1株当たり当期純利益(円/株)(注3)	83.05	173.43	-90.38	-52.1

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) 前回予想はOvako株式取得に係るのれんの償却額を記載しております。

(注3) 当社は、2019年6月19日開催の取締役会において、自己株式の取得および消却を決議いたしました。1株当たり当期純利益につきましては、当該自己株式の取得および消却の影響を考慮しております。

また、第2四半期実績および今回の業績予想修正にともない、誠に遺憾ながら、配当予想を以下のとおり修正いたしました。

	年間配当金 (円/株)			配当性向 (連結) (注)	(ご参考) のれん償却前利益 に対する配当性向
	第2四半期末	期末	合計		
前回発表予想(A)	23.00	29.00	52.00	41.1%	30.0%
今回修正予想(B)	15.50	9.50	25.00	86.5%	30.1%
増減(B-A)	-7.50	-19.50	-27.00	45.4%	0.1%
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	45.00	24.00	69.00	29.0%	

(注) 当社は、2019年6月19日開催の取締役会において、自己株式の取得および消却を決議いたしました。配当性向(連結)につきましては、当該自己株式の取得および消却の影響を考慮しております。

なお、当社は2019年6月19日開催の取締役会において、株式数1,730千株、金額30億円を上限とする自己株式の取得とこれによる取得分と既保有分を合わせた2,930千株の消却を決議いたしました。配当および自己株式の取得による株主総還元性向は以下のとおりとなる見込みです。

	2019年3月期	2020年3月期予想	
年間配当額(①)	28億円	14億円	
自己株式取得額(②)(注1)	—	25億円	
株主総還元(③=①+②)	28億円	39億円	
親会社株主に帰属する当期純利益(④)	77億円	16億円	(のれん償却前(注2)) 46億円
総還元性向(③÷④×100)	36.2%	240.9%	83.8%

(注1) 自己株式取得額は、2019年9月までの取得に要した金額に、取得上限株式数(1,730千株)から2019年9月までに取得済株式数を差し引いた株式数に当社株価の2019年9月30日終値を乗じた金額を加えて算出しております。

(注2) のれん償却前の親会社株主に帰属する当期純利益は、OvakoおよびMSSSののれん償却費(30億円)相当額を親会社株主に帰属する当期純利益の予想額に加えて算出しております。

(注) 業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,385	19,860
受取手形及び売掛金	75,201	63,463
電子記録債権	7,371	6,745
商品及び製品	26,268	22,877
仕掛品	43,734	41,470
原材料及び貯蔵品	25,489	23,822
未取還付法人税等	61	42
親会社株式	1,127	—
その他	10,083	7,137
貸倒引当金	△173	△183
流動資産合計	211,549	185,238
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	59,959	59,792
その他（純額）	43,886	47,354
有形固定資産合計	103,846	107,147
無形固定資産		
のれん	42,400	39,127
その他	3,189	3,146
無形固定資産合計	45,590	42,274
投資その他の資産	13,259	10,911
固定資産合計	162,696	160,333
資産合計	374,246	345,571
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,000	29,780
短期借入金	52,834	35,163
コマーシャル・ペーパー	8,000	2,000
未払法人税等	2,615	785
賞与引当金	2,180	2,206
役員賞与引当金	97	27
環境対策引当金	169	113
その他	22,563	25,360
流動負債合計	127,461	95,436
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	20,508	30,183
役員退職慰労引当金	48	54
債務保証損失引当金	3	2
環境対策引当金	143	134
退職給付に係る負債	11,265	12,031
その他	4,614	5,203
固定負債合計	46,584	57,609
負債合計	174,045	153,046

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,800	53,800
資本剰余金	55,896	55,896
利益剰余金	85,715	85,745
自己株式	△1,923	△3,358
株主資本合計	193,489	192,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,177	1,411
繰延ヘッジ損益	—	△786
為替換算調整勘定	△39	△3,264
退職給付に係る調整累計額	70	△1,078
その他の包括利益累計額合計	2,209	△3,717
非支配株主持分	4,501	4,158
純資産合計	200,200	192,524
負債純資産合計	374,246	345,571

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	89,735	146,091
売上原価	75,974	125,977
売上総利益	13,761	20,114
販売費及び一般管理費	7,924	17,496
営業利益	5,836	2,617
営業外収益		
受取利息	27	86
受取配当金	134	140
受取賃貸料	31	164
その他	219	73
営業外収益合計	413	464
営業外費用		
支払利息	177	430
為替差損	—	322
その他	322	96
営業外費用合計	499	848
経常利益	5,749	2,233
特別利益		
段階取得に係る差益	1,459	—
固定資産売却益	—	35
投資有価証券売却益	—	694
特別利益合計	1,459	729
特別損失		
固定資産除売却損	366	214
投資有価証券売却損	—	646
特別損失合計	366	861
税金等調整前四半期純利益	6,842	2,101
法人税、住民税及び事業税	1,918	343
法人税等調整額	△114	665
法人税等合計	1,803	1,008
四半期純利益	5,038	1,092
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22	△286
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,060	1,379

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	5,038	1,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119	△766
繰延ヘッジ損益	—	△786
為替換算調整勘定	△581	△3,258
退職給付に係る調整額	△44	△1,149
持分法適用会社に対する持分相当額	△424	△19
その他の包括利益合計	△931	△5,980
四半期包括利益	4,107	△4,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,232	△4,547
非支配株主に係る四半期包括利益	△125	△340

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,842	2,101
減価償却費	4,408	7,303
のれん償却額	103	1,498
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	53
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16	26
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39	△70
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	37	△563
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	68	51
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△20	5
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	—	65
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
受取利息及び受取配当金	△161	△226
支払利息	177	430
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△47
持分法による投資損益 (△は益)	△15	—
固定資産除売却損益 (△は益)	366	179
段階取得に係る差損益 (△は益)	△1,459	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,861	11,797
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,164	5,915
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,066	△8,143
未払費用の増減額 (△は減少)	284	△1,323
その他	196	△564
小計	4,844	18,486
利息及び配当金の受取額	160	223
利息の支払額	△179	△433
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,536	△1,913
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,289	16,362
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,798	△6,787
有形固定資産の売却による収入	30	221
無形固定資産の取得による支出	△92	△271
親会社株式の売却による収入	—	871
投資有価証券の取得による支出	—	△1
投資有価証券の売却による収入	—	269
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,174	—
子会社株式の条件付取得対価の払戻による収入	—	4,709
長期貸付金の回収による収入	2	0
定期預金の預入による支出	△327	△424
定期預金の払戻による収入	903	513
その他	△68	△125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,524	△1,024

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	23	△18,635
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	2,999	△6,000
長期借入れによる収入	—	12,248
長期借入金の返済による支出	△4,200	△19
リース債務の返済による支出	—	△412
自己株式の取得による支出	△1	△1,435
自己株式取得目的の金銭信託設定による支出	—	△1,578
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△803	△1,347
非支配株主への配当金の支払額	—	△2
その他	△9	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,990	△17,193
現金及び現金同等物に係る換算差額	△181	△591
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,407	△2,447
現金及び現金同等物の期首残高	14,297	21,792
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,890	19,344

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,003,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が1,434百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が3,358百万円となっております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することといたしました。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が1,796百万円増加し、流動負債の「その他」が735百万円および固定負債の「その他」が1,068百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	77,385	2,413	9,857	89,656	78	89,735	—	89,735
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,688	—	—	4,688	612	5,300	△5,300	—
計	82,073	2,413	9,857	94,344	691	95,036	△5,300	89,735
セグメント利益	5,036	363	380	5,781	9	5,790	46	5,836

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	134,780	2,118	9,127	146,026	65	146,091	—	146,091
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,388	—	0	4,388	759	5,148	△5,148	—
計	139,169	2,118	9,127	150,415	825	151,240	△5,148	146,091
セグメント利益	2,403	68	96	2,568	27	2,595	22	2,617

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

参考資料

2020年3月期 第2四半期決算発表

1. 当第2四半期の業績と通期の予想

(単位：千t、百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	増減	増減率	通期	前期	増減	増減率
	(実績)	(実績)			(予想) (※)	(実績)		
売上高	146,091	89,735	56,356	62.8	277,000	185,818	91,181	49.1
営業利益 (ROS)	2,617 (1.8)	5,836 (6.5)	△3,218 (△4.7)	△55.1	4,000 (1.4)	10,123 (5.4)	△6,123 (△4.0)	△60.5
(内、単体)	2,993	5,476	△2,482	△45.3	8,000	9,757	△1,757	△18.0
(内、Ovako)	1,697	—	1,697	—	0	—	0	—
(内、MSSS)	△440	88	△528	—	△900	△210	△689	328.0
(内、のれん償却)	△1,498	△103	△1,395	—	△3,000	△305	△2,694	882.7
経常利益	2,233	5,749	△3,516	△61.2	3,000	9,437	△6,437	△68.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,379	5,060	△3,681	△72.7	1,600	7,721	△6,121	△79.3
売上数量	902	571	331	57.9	1,725	1,171	554	47.3
(内、単体)	463	532	△69	△13.0	941	1,061	△120	△11.3
(内、Ovako)	387	—	387	—	685	—	685	—
(内、MSSS)	52	40	13	32.1	99	110	△11	△10.1
設備投資	10,778	5,806	4,971	85.6	27,000	10,618	16,382	154.3
減価償却費	7,303	4,408	2,894	65.7	16,000	9,338	6,662	71.3

(※) 予想(10月以降)の主要前提：鉄スクラップ(姫路地区H2市況) 20.3千円/t、原油(ドバイ)65\$/BL、為替105円/\$、120円/€

(参考) 四半期業績推移

(単位：千t、百万円、%)

	2019年3月期				通期	2020年3月期	
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期		4-6月期	7-9月期
売上高	43,912	45,823	49,496	46,586	185,818	77,228	68,863
営業利益 (ROS)	3,680 (8.4)	2,156 (4.7)	2,378 (4.8)	1,907 (4.1)	10,123 (5.4)	2,450 (3.2)	167 (0.2)
経常利益	3,876	1,873	2,343	1,344	9,437	2,296	△62
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,987	1,073	2,121	539	7,721	1,788	△409
売上数量	281	291	310	290	1,171	479	423
(内、単体)	281	251	270	258	1,061	255	207
(内、Ovako)	—	—	—	—	—	196	191
(内、MSSS)	—	40	39	31	110	28	25

2. 当第2四半期の営業利益増減要因(対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 販売価格・構成	16	1. 販売数量	24
2. 原燃料価格	9	2. 諸資材・外注、物流費	19
3. 変動費のコストダウン	2	3. 固定費等	5
4. Ovako営業利益	17	4. 修繕費	4
		5. のれん償却額	14
		6. MSSS営業利益	5
		7. その他連結子会社の利益等	5
計(A)	44	計(B)	76
		差引(A) - (B)	△32